

齊藤忠利名誉教授略年譜

一九三〇年十一月十日

千葉県印旛郡千代田村四街道（現、四街道市）に、父憲司、母とよの長男として生まれる。

一九五六年三月
一九五六年四月

女子高等学校）教諭となる。
同校を退職。

一九三七年四月

四街道尋常高等小学校に入学。

一九六一年四月

宇都宮大学（学芸学部）専任講師となる。

一九四三年三月

同校卒業。

一九六二年九月

一橋大学（商学部）専任講師に転ずる。
中央大学非常勤講師となる。（一九七二年三月まで）

一九四三年四月

千葉県立佐倉中学校（旧制）に入学。

一九六五年四月

一橋大学助教授に昇任。

一九四八年三月

同校を卒業。

一九六六年一月

『一橋論叢』編集委員会委員となる。

一九四八年四月

東京都立第三高等学校（現、両国高等学校）に編入学。

一九六六年六月

お茶の水女子大学非常勤講師となる。（一九七一年三月まで）

一九四九年三月

同校を卒業。

一九七二年七月

一橋大学教授に昇任。

一九四九年四月

東京大学（新制）教養学部に入學。

一九七三年二月

アメリカ合衆国カリフォルニア大学（パークレイ校）およびイェール大学客員研究員となり、研究に従事する。（一九七四年一月まで）

一九五一年四月

同大学文学部英吉利文学科に進学。

一九七四年一月

同大学文学部英吉利文学科に進学。

一九五三年三月

同大学を卒業。

一九七四年一月

同大学を卒業。

一九五三年四月

同大学大学院、修士課程（英語英文学専攻）に入學。

一九七四年一月

同大学修士課程を修了。文学修士（東京大学）の学位を受ける。

一九五五年三月

同大学修士課程を修了。文学修士（東京大学）の学位を受ける。

一九七四年一月

同大学修士課程を修了。文学修士（東京大学）の学位を受ける。

一九五五年四月

千葉県立千葉第二高等学校（現、千葉

一九七四年一月

同校を卒業。

一九五五年四月

千葉立千葉第二高等学校（現、千葉

一九七四年一月

同校を卒業。

一九五五年四月

千葉立千葉第二高等学校（現、千葉

一九七四年一月

同校を卒業。

一九七四年七月

連合王国、オランダ、スペイン、イタリア、ギリシャ、西ドイツ諸国を歴訪。山形大学非常勤講師となる。(集中講義)

一九七六年七月

信州大学非常勤講師となる。(集中講義)

一九七五年四月

東京教育大学非常勤講師となる。(一九七六年三月まで)

一九七八年四月

一橋大学語学研究室室長となる。(一九七八年三月まで)

一九七五年四月

一橋大学教職課程委員会委員となる。(一九九〇年三月まで、八期)

一九八八年四月

津田塾大学非常勤講師となる。(一九八九年三月まで)

一九七五年九月

立教大学非常勤講師となる。(一九八二年三月まで)

一九八九年四月

日本女子大学非常勤講師となる。(一九九〇年三月まで)

一九七五年十二月

一橋大学中和寮寮監となる。(一九七七年十二月まで)

一九九〇年三月

一橋大学を退職。

一九七六年四月

武蔵大学非常勤講師となる。(一九七七年三月まで)

一九九〇年四月

一橋大学名誉教授の称号を受ける。日本女子大学文学部教授となる。